

福島県での支援状況について

2011年3月31日
日本原燃株式会社

当社では、福島県および東京電力からの要請に応え、3月13日から社員を福島県に派遣し、避難された方々のスクリーニング、環境モニタリングや医療支援などを実施しております。

また、東京電力本店への技術支援や、放射線測定器、防護服などの資機材の支援も行っております。

<福島県での支援者数>

- ・社員および当社産業医など88名を派遣（3月30日までの累計）
- ・現在、約30名の体制で支援を実施

<支援場所>

住民スクリーニング班

- ・福島県小野町民体育館、福島県男女共生センター（二本松市）、いわき市役所・保健所、田村市総合体育館など

環境モニタリング班

- ・福島第一原子力発電所から20km圏内外でモニタリングカー（1台）による環境モニタリング

○作業管理班

- ・Jビレッジ、小名浜コールセンターでの作業者の出入管理やサーベイ支援、車両サーベイなど

○医療班

- ・福島第一原子力発電所、Jビレッジ、福島県立医大病院など

<東京電力本店への技術支援>

- ・技術支援のため社員8名を派遣
- ・東京電力からの出向者14名を復社

<資機材等の支援>

- ・放射線測定器：約70台
- ・防護服：約8,000着
- ・防護マスク：約200個
- ・マスク：約160,000枚
- ・水素濃度計：2台
- ・酸素濃度計：6台 など



（Jビレッジでの作業状況）

以上